

## 利用ガイドブック（自然学校用）補足資料

### 1 本校で実施できる活動

どんぐりコレクション	もみじがり	香りをきく
木材くらべ	紙すき体験	鉛筆づくり
自然発見！クロスワード	～ミッションを果たせ～	
オリジナルの“カゴ”をつくろう	樹木にふれよう	きっと、この木！
野外炊事	うどんづくり	棒焼きパン
カートンドッグづくり	火おこし	隠れ家づくり
自然物クラフト(竹・木工)	焼き板	竹細工
草木染め・藍染め	苔玉づくり	ひのきーホルダーづくり
わら細工	勾玉づくり	星空観察
ナイトハイク	水辺の生き物観察	施設散策オリエンテーリング
自然観察	朝来山登山(早朝朝来山登山)	テント設営・テント泊
家族への手紙・はがき書き	自然学校新聞づくり	班旗づくり
短歌・川柳・俳句・詩づくり	キャンプファイヤー	キャンドルサービス
カウシルランタン		

### 2 校外で実施できる活動（徒歩・自転車で移動）

主な活動内容	場 所
竹田城下町散策・城跡登山・たけだ城下町交流館見学	竹田城跡、竹田城下町、たけだ城下町交流館
ヒメハナ公園サイクリング・ハイキング	ヒメハナ公園他
ハイキング等のコースポイントとしての温泉入浴	よふど温泉
食材の買出し	こめやストアー（ヤナセ店）
与布土ダム見学	与布土ダム
川遊び	円山川、与布土川（円山川漁協への申請が必要）
古代あさご館見学・勾玉づくり (勾玉づくりセットだけ購入することも可能。 ただし現金払い。また、講師として古代あさご館の職員を依頼できる)	古代あさご館
コウノトリ放鳥拠点施設見学	三保区コウノトリ放鳥拠点施設（制限あり）
座禅体験	玉林寺、慈照寺

### 3 バスで移動しての活動（利用校の近年の活動実績等から）

主な活動内容	場 所
漕艇（カヤック・カヌー・カッター）体験	円山川公苑（豊岡市）
スノーケル体験	竹野スノーケルセンター（豊岡市）
陶芸体験	立杭陶の郷（丹波篠山市） 窯元やまの（丹波篠山市）
紙すき体験	杉原紙研究所（多可町）

水産加工体験・地引き網漁体験	香住区（香美町）
見学	生野銀山（朝来市） 神子畑選鉱場跡（朝来市） 茶すり山古墳（朝来市） コウノトリの郷公園（豊岡市） 玄武洞公園（豊岡市） 玄武洞ミュージアム（豊岡市） 植村直己冒険館（豊岡市） 城崎マリンワールド（豊岡市）

#### 4 施設の概要

施設名		定員等	備考
生活棟		270 人	6 棟 1 棟定員 45 人（最大 51 人）
浴室棟		40 人 (20 人×2)	大浴場における入浴は一度に 20 人程度 シャワー（カラン）の数：12
	乾燥室	靴 120 足分	約 40℃、8 時間程度で靴等の乾燥可能
食堂		270 人	カフェテリア方式、通常 264 席
大屋根広場		100 人程度	共用スペース 照明・放送設備有り
芝生広場		100 人程度	共用スペース
自然観察館		80 人程度	理科備品多数 キャンドルサービス及び自然物クラフトも実施可能。椅子、机が必要ならば利用団体で準備必要
森のスポーツ広場		200 人程度	軽スポーツができる程度の広さ、キャンプファイヤー（大人数対応）
但馬ふるさと館	工作室	80 人程度	備品多数。8 人用テーブル×10 卓
	研修室	60 人程度	自然物クラフト及びキャンドルサービスも実施可能
	多目的ホール	60 人程度	簡単なクラフト、班ごとのまとめ活動や発表会などが実施可能
うりぼうの森		50 人程度	自然観察、散策
野外キッチン		192 人程度	4 棟 1 棟につき、炉、調理場、流し、野外卓（8 人掛）が 6 か所ずつ

## 5 プログラム作成上の留意点

・ねらいを明確に	・ゆとりあるプログラムを
・流れのあるプログラムを	・自然とふれあう活動を中心に
・振り返りや分かち合いを大切に	・事前や事後とのつながりを
・同一週利用校との場所の調整を	・スポーツは気分転換程度で

## 6 活動について

### (1) 野外炊事

- ・利用ガイドブックに記載してあるメニューから選んでください。
- ・ガイドブックに記載していないメニューの場合は、特別メニュー注文書に記入するか、こめやストアへ買い出しすることになります。なお、食物アレルギーがある児童への配慮は利用校が責任を持って行ってください。
- ・食材の持込みは食中毒防止の観点等から禁止しています。  
※児童が授業の一環として栽培・収穫した米については例外として認めています。  
(野菜は、調理方法によって、要相談。)
- ・カートンドッグをする場合、アルミホイル、新聞紙、牛乳パック、火をつけるもの(マッチやライター等)が必要です。
- ・棒焼きパンは、棒に巻き付けるアルミホイル(一人あたり長さ30cm、幅25cm程度)が必要です。バーベキューコンロに炭を入れて焼くことをお勧めします。(薪の場合、火力が強すぎて表面が焦げ、中に十分熱が通らない)炭6kg(1箱)でバーベキューコンロ3台ぐらい、コンロ1台につき5～6人ぐらいが目安になります。パン生地の発酵により、夏場は生地がベタベタになることがあるので、取扱いに注意が必要です。
- ・使用するキッチン是他の利用校と相談の上決定します。
- ・バーベキューコンロを使用する場合は、コンロのある薪置き場の近くにあるキッチン4が便利です。
- ・11月以降は、日没が早く、気温・水温が低くなり、児童の健康に影響があるため、夕食づくりのための野外炊事は避けてください。

### (2) 自然物クラフト

南但馬森の案内人に依頼可能。

※令和5年度から技術指導員を南但馬森の案内人と改称しました。

- ・半日で、各自思い思いの作品を作っている学校が多いですが、自然散策を兼ねて素材収集から始め、1日かけて活動するプログラム編成を行うことで、自然と触れ合い、流れを伴った活動となります。
- ・焼き板は、野外炊事時の残り火で板を焼く方法と、バーナーで焼付けをする方法があります。形が面白く、木目が美しく出るのは残り火で焼いた方です。焼き板の飾り付けは、アルスカラー(ペインテックス)を塗りすぎると美しい木目が消えてしまうので、自然物を小綺麗に接着したり、色づけも少し文字を入れたりするくらいが美しい作品に仕上がります。
- ・竹細工をする場合、本校の竹を伐採してその竹でクラフト等を行うことができます。なお、食堂業者に竹を注文する場合、孟宗竹(節が1つ)・真竹(節が2つで細い)の両方またはどちらかを用意することが可能です。孟宗竹は、はし、スプーンに、

真竹は、クラフト材料に適しています。

- ・ひのきを使ったクラフトを行う場合、食堂業者に枝を注文することができます。

### (3) **隠れ家づくり** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・隠れ家づくりはじっくりと1日かけて取り組む活動と考えています。
- ・事前学習として出前講座でロープワークを学ぶことができます。
- ・活動場所は、隠れ家づくりフィールド（きつね①）を原則とし、活動班は最大12班までとしています。
- ・フィールドのコンディション不良（雨天など）の場合は、大屋根広場で実施します。スペースとしては、6班まで（1班10人前後程度）がベストで、最大9班程度とします。（班編成が急に換えられない場合は、2班を1班に編成して班数を減らすこともできる。多人数では活動が難しい。）
- ・児童には安全の確保について徹底願います。  
（活動エリア、フィールド地面の状態、丸太の運搬方法、はしご使用時の支え、高所での作業、片付け作業、走らない、ヘルメットや軍手の着用等）
- ・可能な限り南但馬森の案内人を依頼してください。
- ・各班に1人、または2班に1人の教員等を配置するなどして、安全指導や安全確認を徹底願います。
- ・ブランコ等については、児童が遊ぶ前に指導者による安全確認を必ず行ってください。
- ・隠れ家が完成した後に、児童による相互評価や発表等の表現活動を行うと活動の振り返りの内容が充実します。

### (4) **竹田城跡登山** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・自然学校開始前に現地踏査を行い、コースや時間等を説明できるようにすることが大切です。駅裏登山道（約800m〔約40分〕）、南登山道（約3km〔約80分〕）の利用ができます。
- ・駅裏登山道利用の場合、本校から城跡（料金所）まで片道約5kmあり、徒歩で約1時間30分かかります。（途中、休憩を入れて約2時間を目安にしてください）
- ・竹田城下町方面は、坂が急で危険なため、サイクリングを禁止しています。
- ・AEDは料金所、北千畳、南二の丸の3か所に設置されています。
- ・途中で町並みを散策したり、「たけだ城下町交流館」を見学できます。（問合せ：TEL 079-674-2120）（トイレ：虎臥城公園内1か所・たけだ城下町交流館2か所・JR竹田駅・まちなか駐車場・中腹駐車場・料金所付近にあり）
- ・途中で雨が降った場合は、昼食を竹田コミュニティセンター（100人程度可）や竹田会館（30人程度可）でとることができます。
- ①竹田コミュニティセンターや竹田会館の利用を希望する場合は、本校から予約する必要があるため、事前に連絡ください。他団体が使用している場合があることを、ご了承ください。
- ②竹田会館は有料です。（1回3,000円）
- ・弁当は、竹田城跡周辺へ配達可能です。弁当は、かばんに入れて登山すると汁がこぼれたり、偏ったりすることがあるため、おにぎりを注文されることが多いです。
- ・前日までにルートやトイレの場所の確認等を行ってください。

- ・救急車両は、虎臥城公園かその周辺が待機場所になることが多いです。  
(一般車両の中腹Pへの乗り入れは不可ですが、免除許可申請を行った学校は、特別許可車両として1台のみ、中腹Pまで上がることができます。詳細は、朝来市観光交流課と直接やりとりをお願いします。〔TEL 079-672-4003〕)
- ・竹田城跡の入場は高校生以上有料(500円)ですが、小・中学校の教育活動における引率者は「観覧料免除許可申請書」(様式あり:「竹田城跡」公式HPからダウンロード可)を提出すれば無料(観覧日の1週間前までに必着)となります。(料金所で提示する必要があります)
- ・本校から竹田城下町交差点間は、歩道のない区間があります。特に、ダンプカー等の大型車両が頻繁に往来するため注意して通行してください。
- ・城内は一方通行で、観覧ルートがあります。昼食は、北千畳のみ可能です。(規制表示あり)
- ・竹田城跡への早朝登山は実施しないよう計画願います。(近隣住民への配慮)
- ・竹田城跡への入城時間(令和5年3月現在)

期間	入城時間	備考
3月1日～5月31日	8:00～18:00(最終登城17:30)	
6月1日～8月31日	6:00～18:00(最終登城17:30)	
9月1日～11月30日	4:00～17:00(最終登城16:30)	
12月1日～翌年1月3日	10:00～14:00(最終登城13:00)	山城の郷ルートのみ入城可

※1月4日～2月末まで入城はできません。

※変更があることもあるため、市HP等で時間等を確認願います。

#### (5) ヒメハナ公園サイクリング・ハイキング

- ・自然学校開始前に現地踏査してください。
  - ・弁当はヒメハナ公園へ配達可能です。
  - ・片道約6km、徒歩で約1時間30分、自転車では行き30分、帰り60分程度を要します。一日での活動として計画願います。
  - ・雨天時や雨天になりそうな場合は、安全のため自転車を貸し出しません。
  - ・自転車利用の場合、出発前に本校職員を中心にマウンテンバイクに慣れる練習を1時間程度行います。
  - ・事前にヒメハナ公園事務所に連絡してください。  
(1か月前:学校名と参加人数、到着予定時刻、滞在時間等)  
(TEL 079-676-4587 月曜定休日・月曜が祝日の場合は火曜・定休日は利用不可)
  - ・ヒメハナ公園の到着時に、事務所に必ず声をかけてください。
  - ・ヒメハナ公園には、長いすべり台や簡易なアスレチック等が設置してあります。公園の両脇には散策道が整備されています。
- ※サイクリング(H22)とターザンロープ(H23 ドクターヘリ要請)、長いすべり台(H25・H26)でけがが発生しているので、人員配置や安全管理等を検討するとともに、児童に対して安全の確保を徹底願います。

## (6) 朝来山登山

- ・弁当は雲海展望台へ配達可能です。登山活動中に朝食を取る場合は、6：30から食堂でおにぎりやパンを受け取ることができます。その際、水筒にお茶を入れてください。それより早く登山する場合は、前日にパンやジュースを受け取ることができます。
- ・大屋根広場から展望の丘までが約20分、展望の丘から雲海展望台までが約45分、雲海展望台から朝来山展望台までが約20分かかります。  
※途中休憩時間を入れず、大人が一人で歩くおよその目安です。
- ・雲海展望台付近にバイオトイレを設置しています。(登山の前にバイオトイレの鍵、塩、クマよけ鈴、無線機を渡します。早朝登山の場合は、前日に渡します)
- ・道中でクラフトの素材を収集することができます。
- ・道中は苔、落ち葉等で滑りやすいのでご注意願います。また、小石であっても落下すると下を歩いている人が大変危険なため、安全確保の指導を徹底願います。
- ・むささびコースは利用を禁止しています。
- ・ヘルメットの貸出が可能です。「隠れ家づくり」と併用のため、事前の調整が必要)

## (7) 火おこし

- ・本校の火おこし器を利用して、火おこし体験のみという活動は認めていません。  
※必ず野外炊事等、他の活動につながる取組として計画願います。
- ・取り組む時間を区切って計画願います。(30分～1時間程度)
- ・通称「とりの巣(麻ひもをほぐしたもので、テニスボール1個分の大きさ)」は利用校で準備してください。

## (8) キャンプファイヤー

- ・第1・第2ファイヤー場、大屋根広場、森のスポーツ広場の4か所で実施できます。  
※森のスポーツ広場は、原則気象条件の影響がなく、人数規模が適切な場合にのみ可能とします。
- ・大屋根広場で実施の場合は、食堂トイレを使用してください。
- ・雨の日は、大屋根広場のみ実施可能です。
- ・1時間30分以内を目処に終了するよう留意願います。(最終20:30までを目処に終了し、21:00には児童が生活棟に戻ることができるよう計画願います)
- ・トーチ棒やライターなどキャンプファイヤーに必要な物品は利用校で準備願います。  
※使用した針金等は、灰と分別後に持ち帰りください。
- ・指導補助員等による教育上好ましくないアトラクション(ファイヤーダンス、火をふく行為等)は禁止します。
- ・分火等でトーチ棒が多くなり過ぎると危険です。児童同士の間隔を十分に確保できる本数にしてください。

## (9) キャンドルサービス・カウンスルランタン

- ・自然観察館、研修室で実施可能です。(ロウソクのみ)
- ・落ち着いた振り返りを行うのであれば、キャンプファイヤーよりも適しています。
- ・ロウソクは各学校で事前に準備願います。
- ・生活棟では、火気厳禁のためロウソクは使用できないので、電池式ランタンを使う

ことができます。

(10) **テント設営**

- ・雨が降ると、1人用、2人用テント、5人用テントは撤収するか、大屋根広場に待避する必要があります。
- ・テントや支柱、シュラフの袋は紛失しないように、原則、指導者が一括で管理願います。

(11) **星空観察** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・日を確定せず、天気予報を参考に星が見える確率が高い日に実施できるよう柔軟な計画づくりをすることをお勧めします。
- ※雨天時に自然観察館等でプロジェクターを使って星空の解説を行うことが出来る南但馬森の案内人がいます。

(12) **ナイトハイク**

- ・入浴後の活動の場合、時季により服装などについてよく検討願います。
- ・安全上ロータリー、大階段、スロープ、生活棟周辺、キャンプ場までの外灯を消すことはできません。
- ・手持ちキャンドルや火を使うランタンは使用しないでください。

(13) **南但馬森の案内人の紹介**

- ・南但馬森の案内人の紹介を希望する場合は、本校から南但馬森の案内人の連絡先を紹介しますので、利用校が直接南但馬森の案内人に連絡して、指導内容や時間、謝金等の打合せを行ってください。
- ・指導内容については、当日の円滑な運営のために、十分に打合せ願います。

(14) **指導補助員の紹介**

- ・本校に登録している指導補助員を、希望する利用校に紹介しますので、直接交渉してください。
- ・教育事務所や市町組合教育委員会に登録されている指導補助員については、直接お問合せください。

(15) **夜間救急員の紹介**

- ・本校に登録している夜間救急員に依頼する場合は、実施の1か月前までに本校へ連絡願います。
- ・本校が調整し決定後、各校より直接夜間救急員に連絡し、勤務時間、謝金について打合せ願います。

## (16) 雨の日の活動

- ・本校の天候は変わりやすいため、急な雨でも活動できるように、雨具を準備願います。
- ・雨で濡れて体が冷えた場合は、準備が整えば、17：00 以前でも入浴が可能です。また、長靴の貸し出しも可能です。

## (17) 小児科の受診

- ・個人医院は、17：00 までに事前連絡を行うと 17：30 まで受診が可能です。曜日によっては休診しています。
- ・個人医院で受診できない場合は、遠方の八鹿病院か豊岡病院、神崎総合病院での受診になります。

## (18) お茶について

- ・朝のみ、食堂出入り口付近に準備してあるタンクから、水筒にお茶（常温）を入れることができます。
- ・追加のお茶は有料で準備できます。（100 110 円）
- ・夜のお茶が必要な場合は、毎夕食時食堂に連絡することで、各生活棟にやかん 1 個分（50）が無料で準備されます。（食堂に用意されるので、生活棟まで運ぶ必要があります）食堂は夏季は 19：15、冬季は 19：00 には施錠されます。

## (19) 他校との調整について

- ・同一週の利用校とは事前に連絡を取り合い、生活棟、活動内容・場所、食事（食事後のレーンの掃除順番）、入浴等の調整を十分に行ってください。調整が難しい場合は、本校職員が相談に応じます。
- ・食事や入浴の時間の最終調整は、入校後、毎日 16：20 の担当者連絡会時に行ってください。

## (20) 持ち物（準備物）について

- ・野外炊事では、児童に作業用手袋（綿 100%の軍手を推奨）とふきん 2 枚（食器拭き用）を持参させてください。11 月以降の寒い時に実施する場合は、ビニール手袋をした方がよい場合もあります。  
※軍手 1 枚では火傷することがあります。（火を使う活動では、樹脂が溶けるため、すべり止めのゴムのついた手袋は使用しない）
- ・クラフトの活動を行う際にも、児童に軍手を持参させてください。

## (21) 食物アレルギーの対応

- ・代替食については、食堂業者が対応可能な範囲となります。対応不可能な場合は、食材を持ち込んで、生活棟の冷蔵庫で保存し、本館で簡易な調理をすることが可能です。本館で、電子レンジ、オーブントースターを貸し出しすることができます。